

奄美群島の特徴

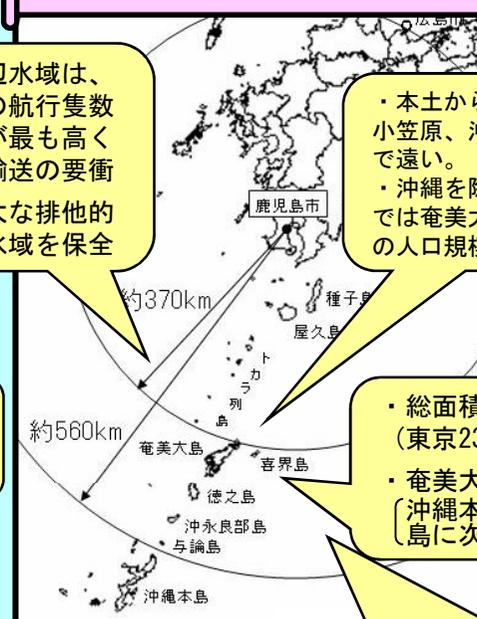
(奄美群島の歴史・社会・位置)

歴史

- 西暦1460年頃 全島が琉球王朝の支配下に入る
- 西暦1609年 薩摩藩の征縄役の結果、奄美群島は琉球から分割されて薩摩藩に直属
- 明治8年 鹿児島県大島大支庁が名瀬に置かれる
- 昭和21年 連合軍総司令部の覚書により日本本土から行政分離され、沖縄に本部を置く米軍政下に統治される
- 昭和28年 日本に返還され、鹿児島県の行政管理下に編入される
- 昭和29年 奄美群島復興特別措置法制定(以後、約5年ごとに政府提案で期限を延長、制定時及び昭和30年8月の改正は議員立法)
- 昭和39年 奄美群島振興特別措置法と改称
- 昭和49年 奄美群島振興開発特別措置法と改称
- 平成16年 奄美群島振興開発特別措置法の一部改正(有効期限を平成20年度末まで5か年延長)
奄美群島振興開発基本方針を策定
奄美群島振興開発計画を策定(鹿児島県)

- ・法目的に自立的発展を追加
- ・計画体系の見直し

位置



- ・周辺水域は、船舶の航行隻数密度が最も高く海上輸送の要衝
- ・広大な排他的経済水域を保全

- ・本土からの距離は、小笠原、沖縄に次いで遠い。
- ・沖縄を除いて離島では奄美大島は最大の人口規模

- ・総面積は1,231km²(東京23区の2倍)
- ・奄美大島は712km²[沖縄本島、佐渡島に次ぐ面積]

社会

- 人口
 - ・126,483人(H17)
- 長寿の島
 - ・人口10万人当たりの100歳以上の人数95.37人(全国25.28人、沖縄57.89人)
 - ・長寿世界一を2名を輩出(故泉重千代、故本郷かまと)
- 子宝の島
 - ・合計特殊出生率上位10市町村に4町がランクイン
 - ・「子は宝」という価値観
- 若年層を中心とした人口流出
 - ・高校生の群島内就職率は約8%(H17年度)
- 本土との所得格差
 - ・奄美 2,000千円(H16年度)(全国平均の約7割)

人口増減率(H17/S30)	
奄美	△38.4%
鹿児島	△14.2%
全国	41.8%
沖縄	70.0%

高齢者の割合(H17)	
奄美	27.7%
鹿児島	24.8%
全国	20.1%
沖縄	16.1%

鹿児島県は約55%
沖縄県は約62%

- ②天城町 2.81
- ④伊仙町 2.47
- ⑥和泊町 2.42
- ⑦徳之島町 2.41

鹿児島	2,215千円
全国	2,826千円
沖縄	1,995千円

交通(空路)

- 東京(羽田)ー奄美 1日1便(130分)
(東京(羽田)ー那覇 1日25便)
- 大阪(伊丹)ー奄美 1日1便(100分)
(大阪(伊丹、関西、神戸)ー那覇 1日16便)
- 鹿児島ー奄美・喜界・徳之島・沖永良部・与論

行政区分

- 12市町村(1市9町2村)
- 奄美大島(奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町)
- 喜界島(喜界町)
- 徳之島(徳之島町、天城町、伊仙町)
- 沖永良部島(和泊町、知名町)
- 与論島(与論町)

奄美群島の自然・文化・産業

自然

- 亜熱帯海洋性の気候で四季を通じて温暖多雨
 - ・奄美大島
 - 年間降水量は東京の約2倍
 - 平均気温：21.5℃ 降水量：約2,914mm(S46~H12)
- 動植物が独自の進化
 - ・アマミノクロウサギ(特別天然記念物)、ルリカケス(天然記念物)、オオトラツグミ(天然記念物)等の貴重な固有種の宝庫
 - ・生物分布の北限が多い
- ※世界自然遺産登録に向けての取組みあり
- 台風の常襲地帯
 - ・S46~H16の34年間に発生した台風の約20%が奄美大島の500km以内に接近
- ハブの生息
 - ・ハブ咬傷者数H14 66人(1)、H15 74人、H16 77人(1)、H17 53人〔()は死亡者の内数〕
- 特殊病害虫の生息
 - ・アリモドキゾウムシ、イモゾウムシ等
- 外来種問題
 - ・ジャワマングース、ノイヌ、ノネコ、ノヤギ等

300km以内H15:5回
に接近 H16:7回
H17:1回
H18:1回

従業員10名以下の
事業所が約6割

サツマイモ属植物の移動の禁止

希少な野生動物を含む在
来の生態系に影響

文化

- 個性的な伝統文化
 - ・奄美群島全域に伝わる民謡の総称である島唄(元ちとせ)
 - ・集落ごとに行われる八月踊り
 - ・徳之島の闘牛
 - ・祭りの締めくりに踊る六調

産業

○農業

さとうきびを基幹作物
(作付面積の約58%、農業
産出額の約27%)に、野菜、
花き、畜産、果樹を生産

たんかん、ぼん
かん、すもも等

○商工業

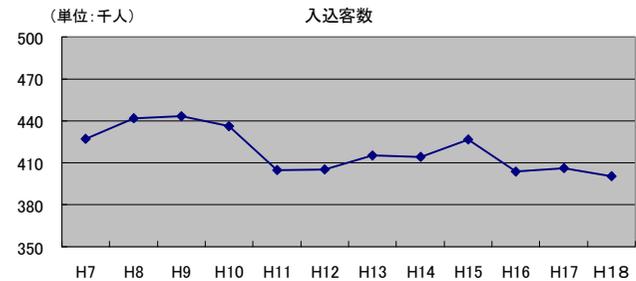
- ・大島紬→S47年をピークに生産反数は年々減少(現在はピーク時の1割未満)
- ・黒糖焼酎→生産・出荷量は、最近の焼酎ブームで大幅に増加

酒造年度	H13	H18	倍率
製成数量	5.4千kℓ	12.6千kℓ	2.4倍
県外移出数量	2.3千kℓ	5.5千kℓ	2.4倍

〔黒糖焼酎：日本復帰に際し、酒税法の特例として奄美群島において米麴を併用する場合に限り製造が認められた黒糖を原料とする蒸留酒〕

○観光産業

近年の入込客は
横ばい。

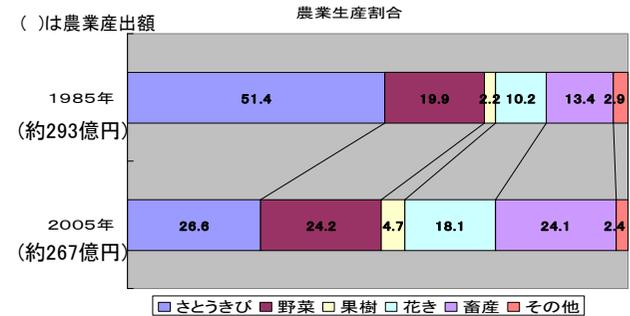


○情報通信産業

平成17年 コールセンター立地(現在1社)

○産業構造

H16群内総生産	奄美	鹿児島	全国
農業	4.2%	3.9%	1.3%
水産業	0.8%	0.7%	0.2%
鉱建設業	10.2%	6.5%	6.3%
製造業	4.5%	12.3%	20.2%
サービス業	47.4%	37.8%	31.6%
(うち公的サービス)	23.7%	13.6%	9.1%



奄美群島の各島の概要

奄美大島

(加計呂麻島・請島・与路島含む)

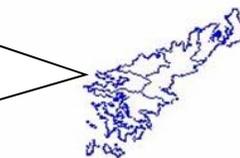
- 人口：70,462人(H17) ○面積：812.46km²
- 気温：22.2度 ○降水量：2,491mm
- 入込観光客数：234千人(H17)
- 農業：さとうきび、野菜、畜産、たんかん、ぼんかん、パッションフルーツ
- 水産業：クロマグロ養殖
(日本の養殖の半分近くを占める)
- 自然：アマミノクロウサギ、ハブが生息
- 交通：東京、大阪からの直行便が就航
- その他：群島の政治、経済、文化の中心



猛毒を持つハブ



貴重なマングローブ原生林



喜界島

- 人口：8,572人(H17) ○面積：56.94km²
- 気温：22.4度 ○降水量2,021mm
- 入込観光客数：26千人(H17)
- 農業：さとうきび、畜産、白ゴマ、小菊
- その他：隆起さんご礁の島（現在も数ミリずつ上昇）

徳之島

- 人口：27,167人(H17) ○面積：247.76km²
- 気温：22.3度 ○降水量1,885mm
- 入込観光客数：66千人(H17)
- 農業：さとうきび、畜産、ばれいしょ、さといも、マンゴー
- 自然：アマミノクロウサギ、ハブが生息
- その他：闘牛の島

与論島

- 人口：5,731人(H17) ○面積20.49km²
- 気温：23.1度 ○降水量：1,868mm
- 入込観光客数：38千人(H17)
- 農業：さとうきび、畜産
- その他：隆起さんご礁の島

沖永良部島

- 人口：14,551人(H17) ○面積：93.65km²
- 気温：23.0度 ○降水量：1,787mm
- 入込観光客数：41千人(H17)
- 農業：キク、ソリダゴ、ユリ、畜産、ばれいしょ(かごしまブランド産地)
- その他：隆起さんご礁の島



テッポウユリ